



## 異例の憲法記念日

### ネット集会等

コロナ禍の最中の憲法記念日。残念ながら集會も持てず。国民へのアピールする機会を持ちにくい中で様々な工夫がありました。



東京では、「許すな、安倍改憲発議！平和といのちと人権を！5・3憲法集会2020」（実行委員会主催。総がかり行動実行委員会、安倍9条改憲NO！全国市民アクションの共催）は、集會形式をやめて、国会正門前で行う各方面からのスピーチをインターネット上で配信しました。

改憲勢力も「憲法フォーラム」というネット中継をしています。その呼びかけでは「自民党は護憲政党なのではないか？改正するする気はあるのか？野党と謀って改正スルスル詐欺を行っているのか！」などと焦りを見せながら、安倍内閣をあおっています。

安倍総理自身もここにビデオメッセージを寄せていますが、その中身は国民の人権については一切なく、コロナ対策で緊急事態の条項がいかに必要かということと自衛隊の憲法記入問題がほとんどです。まさにコロナ問題を「呼び水」にして憲法改悪を狙っています。PCR検査の決定的遅れをはじめ対策の遅れを憲法のせいといわんばかり。いままで何かというと民主党政権のせいにしたり、役人のせいにして来た安倍総理、なんでも人のせいにする性癖はトランプ氏に負けず劣らずです。

## 流山市内では 宣伝カーで

九条の会・流山は市内を北部と南部に分かれて2コースで車からの平和憲法を守ろうと宣伝を行いました。

外出自粛といわれている中での街頭宣伝はどうかという心配もありましたが、特にトラブルもなく、それぞれ2時間ほど訴えました。連休で好天というのに多くの家は在宅中で、聴いていただけたのではないかと思います。街は人影も音も少なく、ひっそりとして異常です。それでもたまに遠くからお辞儀をして下さった方も見かけました。それでも流山街道などは車が結構走っていて、ゆっくり運転するとすぐ後ろに車が来てしまうので、ひっきりなしに脇によってやり過ぎながらの宣伝でした。国民が声を挙げ辛いときに乗じた改憲を許すまじ！

## 防衛省辺野古工事の一部

### 軟弱地盤でこっそり計画中止

## 変更でなく泥上の楼閣中止を

**こっそり**…… 沖縄県の辺野古米軍基地建設の一部を防衛省は中止していました。名護の海の軟弱地盤で工事は不可能と沖縄県や技術者の再三の警告にもかかわらず、進めてきた6つの工事が3月の期限までに実施できず、打ち切られていました。ほとんど準備段階の地盤の調査段階で放棄され、企業も担当者はすでになくなっているというのです。

護岸や岸壁の本体工事に手もつかないまま、掘削調査などに計約300億円が業者に支払われていました。国民にも工事許可者の沖縄県にもひた隠しにして、膨大な税金が無駄になったのです。

**沖縄県は**…… 先の見通しがないまま防衛省は地盤改良には設計変更申請が必要だとして4月21日に沖縄県に申請の書類を提出しましたが、県は承認しない構えです。山城博治現地闘争部長は「人々が集まらない時期であり、心をもてあそぶ暴挙だ」と抗議。沖縄県がコロナなどで大変な中を膨大な書類審査を要求する暴挙だけでなく辺野古の基地全体の泥上の楼閣工事を直ちに白紙に戻すべきです。

都合の悪いことは徹底的に隠す。それが何度も繰り返されています。

旧軍の「大本営発表」は国民は誰も信じていないことの代名詞になっています。作戦上の秘密や装備の秘密でもなく、工事の進捗の状況さえ秘密にし、こっそり失敗を隠すなどということが許される組織が憲法に書き加えられて戦争を始めたなら……。自衛隊員自身が何も知らされずに戦わされる危険が大です。

**すでに始まっている**…… 現在も中東に派遣された自衛隊はアフリカや中東に派遣されていますが、世界に広がったコロナ感染の危険から、寄港補給や上陸ができない支障が現実になっています。隊員の中で感染者が出れば、護衛艦には新型コロナウイルス検査体制はなく、狭い医務室のみしかなく、隔離するためのスペースもない中で米国の要請で中東に派遣したのです！



2020年流山憲法集会

5月17日(日) 中止しました

